

ファイル管理 - 3

- ファイルの圧縮

`gzip` 元のファイル名

→ 元のファイル名.gz をファイル名とする圧縮ファイルが出来上がる。

- ファイルの伸長

`gunzip` 圧縮ファイル名 (`～.gz`)

→ 圧縮前のファイル名 のファイルが出来上がる。

- ファイルのアーカイブ時に圧縮

`tar zcvf` アーカイブファイル名 ファイル名 1 ファイル名 2 . . .

`tar zcvf` アーカイブファイル名 ディレクトリ名 1 ディレクトリ名 2 . . .

- 圧縮アーカイブファイル (`tar.gz` 形式) からファイルの抽出

`tar zxvf` 圧縮アーカイブファイル名

課題 1

- 1) `ssh` コマンド (セキュアな遠隔ログイン) で Linux サーバにログインする。
- 2) `work` という名前のディレクトリを作成し, `work2.tar` を `work` ディレクトリにコピーする。
- 3) 作業場所を `work` ディレクトリに変更する。
- 4) `gzip work2.tar` を実行し, 作成されたファイルと元のファイル (ホームディレクトリ上) との大きさを比較する。
- 5) `gunzip work2.tar.gz` を実行し, 伸長されたファイルと元のファイル (ホームディレクトリ上) との大きさを比較する。

課題 2

- 1) `work` ディレクトリ中で, `tar` コマンドでアーカイブファイル `work2.tar` から中身を抽出する。
- 2) `tar zcvf work2.tgz work2` を実行し, 圧縮アーカイブファイル `work2.tgz` を作成する。
- 3) Linux サーバからログアウトする。
- 4) `scp` ユーザ名@192.168.4.100:~/work/work2.tgz . を実行し, Linux サーバ上の `work` ディレクトリから `work2.tar` を転送する。
- 5) `tar zxvf work2.tgz` を実行し, 圧縮アーカイブファイル `work2.tgz` から中身を抽出する。